

## 地質調査業協会親睦ボーリング大会に参加して

一 條 文

ボーリング大会にでると決めた時は、スコアは人並だし、こういうのは参加することに意義があると自分勝手に解釈して出ることになりました。

私の会社からは1チームの参加でしたが、社内でのプレッシャーともつかない励まし等があって大会数日前に3人で特訓に出かけました。その時は3人とも調子がよく、これなら優勝だと思ってしまうほどのスコアがでて調子に乗っていました。

当日、このような会に参加するのは初めてだった私は、どのくらいの人が参加するのか等、柄にもなく緊張していました。会場に入ってみると2Fフロアの半分以上が今大会の参加チームで36チーム、108名の方々にいっぱいでした。

最初の数分間練習し、すぐ本番となりました。1、2投目が終わると数日前の練習の時と比べるとちょっと調子が悪いかと感じましたが、まだまだこれからと思いゲームを進めていきました。まわりのチームのスコアを見てみると、プロボーラーのようにストライクを連続する人やなかなか自分の思い通りに投げられない人などさま

ざまでした。私のチームは、練習の成果が発揮できたら良かったのですが、なかなかそうはうまくいかず、まわりで応援する人の声や拍手をプレッシャーに感じながらもあっという間の1時間30分で、楽しく2ゲームをやり終えることができました。その後、表彰式を兼ねた懇親会がありました。2ゲームの合計で争われ、チーム優勝の他、各個人賞などユニークな賞もありました。

結果は、前回優勝チームである復建技術さんが今回も優勝ということで終わりました。私達のチームは惜しくも？賞にはとどきませんでしたでしたが楽しい時間を過ごせました。

大会関係者の方々は、大変なご苦勞だったと思いますが、またこのような会を企画してほしいと思います。機会があればまた参加したいと思います。

(東建地質調査㈱)